

平成29年5月26日(金) 13:00~15:00
伊都・先導研CE-41棟 1F 第一セミナー室

量子物質と創発機能

理化学研究所創発物性科学研究センター
東京大学物理工学専攻

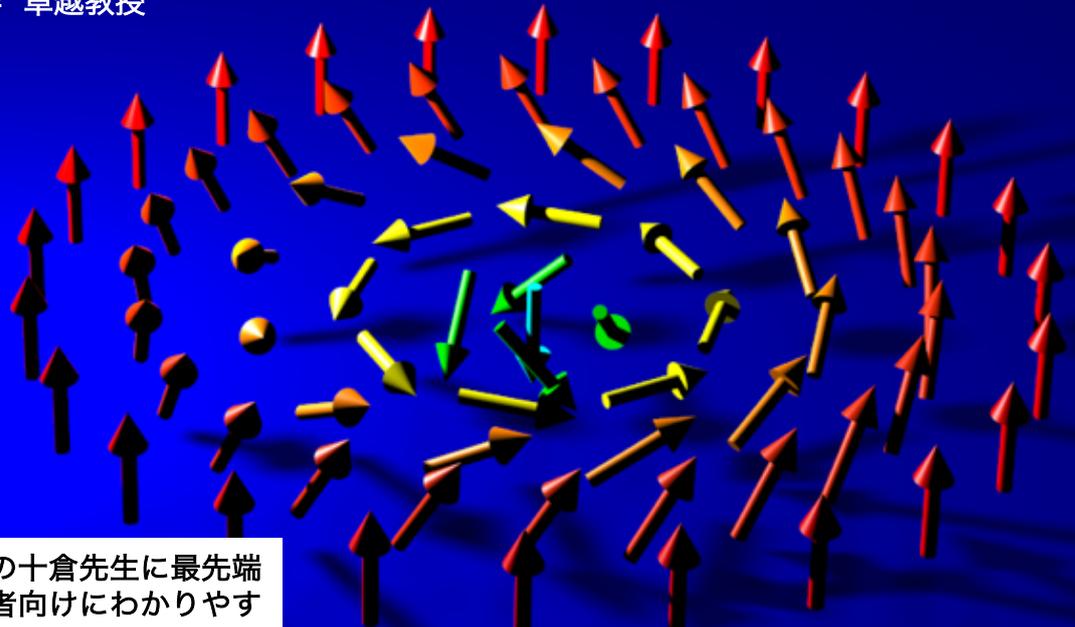
十倉 好紀 教授



量子物質、特に多数電子が強く相互作用する系では、協力現象によって顕著な創発物性が生まれる。モット転移、高温超伝導、巨大磁気抵抗、巨大電気磁気効果、トポロジカル絶縁体などのその例である。トポロジカル流や量子スピンをういた非散逸性エレクトロニクス、光起電力・熱電効果によるエネルギー収穫、安全性を担保する量子計算・通信、が量子物質科学に基礎を置く応用の主要な3分野である。ここでは、強い電子相関とトポロジーの観点から、量子物質の創発物性・機能を概観する。

- 十倉先生ご略歴 -

1981年 東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻・博士課程修了, 同大学工学部物理工学科 助手
1984年 東京大学工学部物理工学科 講師
1986年 東京大学理学部物理学科 助教授
1994年 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻 教授
1995年 - 現在 東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻 教授
2013年 - 現在 理化学研究所 創発物性科学研究センター センター長
2017年 - 現在 東京大学 卓越教授



本年度先導研・客員教授の十倉先生に最先端の研究を学生・若手研究者向けにわかりやすく解説いただきます。

参加希望者は右記までお申し込みください
(申込締切: 5月22日(月) 定員: 50名)

申込先: 九州大学先導物質化学研究所 (伊都)
玉田 薫 092-802-6230
tamada@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp